

2024 年度 昭和大学藤が丘病院 薬剤部 業績

原著論文（英文）

1. Collaboration between community and hospital pharmacists on follow-up of elderly patients with advanced unresectable cancer using the Geriatric-8 screening tool
Takenori Ichimura, Hayato Murata, Yuko Kimura, Megumi Tokunaga, Miwa Hinata, Miki Nagata, Mika Suga, Katsuaki Miyahara, Daisuke Ichikura
Geriatric Pharmacology, in press, 2025.
2. Enhancing result reliability by addressing potential confounding factors
Tomoyuki Ishigo, Kazuaki Matsumoto, Hiroaki Yoshida, Hiroaki Tanaka, Yuta Ibe, Satoshi Fujii, Masahide Fukudo, Hisato Fujihara, Fumihiro Yamaguchi, Fumiya Ebihara, Takumi Maruyama, Yukihiro Hamada, Masaru Samura, Fumio Nagumo, Toshiaki Komatsu, Atsushi Tomizawa, Akitoshi Takuma, Hiroaki Chiba,
Yoshifumi Nishi, Yuki Enoki, Kazuaki Taguchi, Ayako Suzuki
Microbiology Spectrum, e0149924, 2025 Feb.
3. Identification of patients who require two-point blood sampling for the peak and trough values rather than one-point blood sampling for the trough value for the evaluation of AUC of vancomycin using software
Ayako Suzuki, Masaru Samura, Tomoyuki Ishigo, Satoshi Fujii, Yuta Ibe, Tomohiro Aigami, Keita Nakano, Hiroaki Yoshida, Hiroaki Tanaka, Fumiya Ebihara, Takumi Maruyama, Yukihiro Hamada, Hisato Fujihara, Fumihiro Yamaguchi, Fumio Nagumo, Toshiaki Komatsu, Atsushi Tomizawa, Akitoshi Takuma, Hiroaki Chiba, Yoshifumi Nishi, Yuki Enoki, Kazuaki Taguchi, Kazuaki Matsumoto
Pharmaceutical Research, 41(11):2161-2171, 2024 Nov.
4. Factors Associated With Sacubitril/Valsartan Continuation and the Methods of Combining Heart Failure Medications in Patients With Heart Failure
Erika Iwasaki, Noriko Kohyama, Mayumi Inamoto, Michiru Nagao, Tomiko Sunaga, Hiroshi Suzuki, Mio Ebato, Mari Kogo
Annals of Pharmacotherapy, 2024 Sep.

5. Simultaneous analysis of caffeine and paraxanthine provides potentially useful indexes in the treatment of acute caffeine intoxication
Yoshitaka Yamazaki, Asuka Kaizaki-Mitsumoto, Mariko Sato, Yumiko Inoue, Kazuyuki Miyamoto, Keisuke Suzuki, Munetaka Hayashi, Kenji Dohi, Satoshi Numazawa
The Journal of Toxicological Sciences, 49(10):447-457, 2024 Aug.
6. Suppressive effect of resveratrol, catechin and their conformationally constrained analogs on neutrophil extracellular trap formation by HL-60-derived neutrophils
Hitomi Ohinata, Wiraphol Phimarn, Mirei Mizuno, Takashi Obama, Kiyoshi Fukuhara, Tomohiko Makiyama, Yuichi Watanabe, Hiroyuki Itabe
Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition, **75**(1): 17-23, 2024 Jul.
7. Relationship between nephrotoxicity and area under the concentration-time curve of vancomycin in critically ill patients: a multicenter retrospective study
Tomoyuki Ishigo, Kazuaki Matsumoto, Hiroaki Yoshida, Hiroaki Tanaka, Yuta Ibe, Satoshi Fujii, Masahide Fukudo, Hisato Fujihara, Fumihiro Yamaguchi, Fumiya Ebihara, Takumi Maruyama, Yukihiro Hamada, Masaru Samura, Fumio Nagumo, Toshiaki Komatsu, Atsushi Tomizawa, Akitoshi Takuma, Hiroaki Chiba, Yoshifumi Nishi, Yuki Enoki, Kazuaki Taguchi, Ayako Suzuki
Microbiology Spectrum, 12(7): e0373923, 2024 Jul.

原著論文（邦文）

1. 心不全患者に対するサクビトリルバルサルタン導入後の忍容性と有害事象発生の実態調査
永尾美智瑠, 石井俊一, 稲本真弓, 岩崎恵里佳, 神山紀子, 向後麻里, 江波戸美緒, 鈴木洋, 須永登美子
神奈川県病院薬剤師会雑誌, 57(1), 2-7, 2025 年 3 月
2. 回復期リハビリテーション病棟における病院薬剤師の在駐と薬剤師業務の実施に関する現状
岸本真, 小瀬英司, 篠永浩, 田中絵里子, 中道真理子, 溝神文博, 藤原久登
日本病院薬剤師会雑誌, **61**(1), 45-50, 2025 年 1 月

3. 錠剤嚥下障害の実態調査と服薬補助製品による服薬改善評価 PILL-5 アセスメントツールを用いて
大坪博子, 倉田なおみ, 大城真理奈, 高橋伸幸, 山口天士, 田中広紀, 楠裕美子,
詫間章俊, 三井奈緒, 島本一志, 伊藤綾花, 越塚宏美, 古屋宏章, 大音師澄子,
飯田純一, 興石徹, 上田章人, 萩田均司, 坪内理恵子, 宇都宮励子, 森田俊博
医療薬学, **50**(9), 473-485, 2024 年 9 月

ケースレポート

1. Black Pigmentation on the Tongue Induced by Long-Term Use of Tetracycline Antibiotics in a Colorectal Cancer Patient With Epidermal Growth Factor Receptor (EGFR) Inhibitor-Associated Skin Lesions: A Case Report and Literature Review
Takahito Inagaki, Takenori Ichimura, Daisuke Ichikura, Kunihiko Wakamura, Shuichi Nawata
Cureus, 17(2): e79261, 2025.
2. Improvements in activities of daily living through respiratory rehabilitation facilitated by effective management of chronic obstructive pulmonary disease control: a case report
Shoko Nakamura, Kenji Momo
THE SHOWA UNIVERSITY JOURNAL OF MEDICAL SCIENCES, 37(2):6, 2024 Oct.
3. Different Patterns of Platelet Count Fluctuation in Response to Various Anticancer Chemotherapies among Patient with Bladder Cancer.
Watanabe A, Ogawa Y, Saeki M, Nagata T, Morita M, Momo K.
Case Rep Oncol. 2024;17(1):1277-1281. 2024 Nov.

その他の論文（短報、資料、ノートなど）

1. 病院薬剤師の有害事象報告に対する意識および Case report の教育体制の実態調査～
3 施設における Case report の教育基盤の構築～
須永登美子, 米澤龍, 坪谷綾子, 四十物由香, 向後麻里
医療薬学, **51**(2), 90-103, 2025 年 2 月

著書

1. 切れ目のないポリファーマシー対策を提供するための薬物療法情報提供書作成ガイド
藤原久登 (担当：分担執筆, 範囲：療養環境移行時の注意点「回復期病院・病棟」)
厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤開発推進研究事業研究班 2025 年 3 月
2. がん薬剤師外来マニュアル
市村丈典 (担当：分担執筆, 範囲：肝細胞がんの病態生理、アテゾリズマブ+ベバシズマブ)
医学書院 2025 年 3 月

総説（特集、解説を含む）

1. 特集 リハビリテーション医療の現場で役立つポリファーマシーの知識「回復期リハビリテーション病棟におけるポリファーマシー対策」
田中絵里子, 佐野瑞季, 大日方瞳, 稲本真弓, 藤原久登
Monthly Book Medical Rehabilitation **309**, 38-43, 日本病院出版会 2025 年 1 月
2. 特集 リハビリテーション医療の現場で役立つポリファーマシーの知識「編集企画にあたって」「読んでいただきたい文献紹介」
藤原久登 (編集企画)
Monthly Book Medical Rehabilitation **309**, 前付 1, 6, 日本病院出版会 2025 年 1 月
3. 特集 摂食嚥下障害だけじゃない!? 錠剤嚥下障害「脳神経内科疾患の患者における錠剤嚥下障害の評価」
田中広紀, 山口天士, 高橋伸幸
調剤と情報 **31** (1) 23-26, じほう 2025 年 1 月
4. もう、こわくない! 子どもとくすり 剤形選択・服薬指導のポイント 子どもとくすり「4. 使いやすい外用剤の剤形選択」
百賢二, 高田恵理子, 田中茜
Rp.+ (レシピプラス) **24**(1) 28-31, 南山堂 2025 年 1 月
5. 回復期病棟における薬剤師介入の有用性に関する調査研究
藤原久登, 岸本真, 小瀬英司, 篠永浩, 田中絵里子, 中道真理子, 溝神文博
日本病院薬剤師会雑誌 **60**(10) 1164-1166, 2024 年 10 月

6. 特集 口腔機能低下症・嚥下障害のミカタ 服薬サポートの引き出しを増やしませんか！？多職種から学ぶ！服薬支援力を磨くヒント②「脳卒中の回復期②ー退院先を見据えた支援ー」
田中広紀, 中村彰子, 飯田守
薬局 75(12) 1991-1993, 南山堂 2024 年 10 月
7. 特集 Hey 薬剤師外来[外来診療の質を上げる方法を教えて]「がん薬物療法外来-肝細胞がん アテゾリズマブ+ベバシズマブ療法の有害事象管理」
稲垣貴士, 市村丈典
薬局 75(8) 63-69, 南山堂 2024 年 7 月

講演

1. 【講演】がん治療を最大化する DI 教育を考える～がん専門薬剤師の立場から～
市村丈典
日本医薬品情報学会 JASDI フォーラム 2025 年 3 月 22 日 (WEB)
2. 【講演】JASPO 臨床研究セミナー「研究の実際」
“僕らはこうやって研究の試練を乗り越えた!!”
市村丈典
日本臨床腫瘍学会 JASPO 臨床研究セミナー 2025 年 2 月 22 日 (WEB)
3. 【講演】がん薬物療法における高齢者機能評価の位置づけと利用方法
市村丈典
神奈川県病院薬剤師会 がん薬物療法専門薬剤師セミナー 2024 年 12 月 11 日 (WEB)
4. 【講演】リハビリテーション薬剤の実践～リハ薬剤を効率的に進めるコツ～
藤原久登
日本服薬支援研究会 Web 講演会 2024 年 10 月 11 日 (東京, WEB)
5. 【講演】脳卒中診療における回復期病棟の薬剤師の役割と生活期との連携～現状と課題～
藤原久登
脳卒中診療の明日へのシナリオ in 京都 ～医療・ケアに関する多職種・地域連携を考える～ 2024 年 9 月 19 日 (京都, WEB)

6. 【講演】AMR に対する取り組み

田中道子

2024 年第 5 回青葉区薬剤師会病薬連携 Web 研修会 2024 年 8 月 7 日 (WEB)

7. 【講演】認知症は薬で治る？～認知症治療薬の違いと使い分け～

藤原久登

2024 年度春季第 67 回昭和大学公開講座 2024 年 5 月 25 日 (東京)

学会発表 (シンポジウム、パネルディスカッション)

1. 【シンポジウム 3】症例報告論文に挑戦しよう～薬剤師一人ひとりにできる臨床での取り組み～「AI を活用した症例報告の書き方～ケースシリーズを例に～」

市村丈典

日本臨床腫瘍薬学会 2025 年 3 月 15 日 (横浜)

2. 【パネルディスカッション 2】高齢者心疾患患者の QOL と多職種ネットワーク「高齢心不全患者の薬剤管理と地域連携」

中村彰子

日本心臓リハビリテーション学会第 9 回関東甲信越支部地方会 2024 年 11 月 9 日 (東京)

3. 【シンポジウム 36】セッティング別のリハビリテーション薬剤「回復期病棟におけるリハビリテーション薬剤」

田中絵里子

第 33 回日本医療薬学会年会 2024 年 11 月 3 日 (千葉)

4. 【シンポジウム 16】セッティング別のリハビリテーション薬剤「回復期病棟におけるリハビリテーション薬剤」

大坪博子, 倉田なおみ, 大城真理奈, 高橋伸幸, 山口天士, 田中広紀, 楠裕美子,

詫間章俊, 三井奈緒, 島本一志, 伊藤綾花, 越塚宏美, 古屋宏章, 大音師澄子,

飯田純一, 興石徹, 上田章人, 萩田均司, 坪内理恵子, 宇都宮励子

第 33 回日本医療薬学会年会 2024 年 11 月 3 日 (千葉)

5. 【国際シンポジウム】がん化学療法の未来を変える臨床薬学研究のススメ
「Identifying evidence gaps and clinical research in Japan's Super-Aged Society: A pharmacists' perspective」
市村丈典
第 33 回日本医療薬学会年会 2024 年 11 月 2 日（千葉）
6. 【シンポジウム 14】感染領域の専門家たちが共に考える：資格取得から後進者の育成までの挑戦と展望「日病薬委員として」
田中広紀
日本病院薬剤師会関東ブロック第 54 回学術大会 2024 年 8 月 11 日（さいたま）
7. 【シンポジウム 15】「回復期病棟における薬剤師介入の有用性に関する調査研究」
藤原久登
第 7 回日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum 2023 年 7 月 15 日（東京、WEB 開催）

学会発表（口頭、ポスター）

1. 医薬品の安全適正管理システム McHIL（マックヒル）導入による調剤の安全性と有用性
藤原久登
日本医療マネジメント学会第 24 回神奈川県支部学術大会 2025 年 3 月（横浜）
2. 院外処方問い合わせ簡素化プロトコルの有用性
田中広紀
日本医療マネジメント学会第 24 回神奈川県支部学術大会 2025 年 3 月（横浜）
3. 膀胱がん患者における抗がん剤治療レジメンの変更に伴う血小板の変動を認めた一例
渡邊亜矢子, 小川祐, 佐伯美沙, 永田卓也, 森田將, 柏原由佳, 百賢二
日本臨床腫瘍学会 2025 年 3 月（神奈川）
4. 新規プレガバリン経皮吸収製剤の開発と皮膚透過性の検討
坂間利奈, 永尾美智瑠, 田島正教, 吉川雅之, 佐藤均, 杉山恵理花
日本薬学会第 145 年会 2025 年 3 月（福岡）

5. サクビトリルバルサルタンを導入した心不全患者におけるループ利尿薬減量に関連する因子と心不全治療薬の併用方法の検討
岩崎恵里佳, 神山紀子, 稲本真弓, 永尾美智瑠, 須永登美子, 江波戸美緒, 鈴木洋, 向後麻里
日本薬学会第 145 年会 2025 年 3 月 (福岡)
6. 子宮体癌術後感染症の制御に難渋し、パクリタキセル・カルボプラチン併用療法を提案した一例
石川愛梨, 田中道子, 田辺玲奈, 大日方瞳, 杉田栄樹, 藤原久登
第 14 回レジデントフォーラム 2025 年 3 月 (三重)
7. アンチ・ドーピングに関する情報提供を通して、現役スポーツ選手の周術期薬物療法に関与した一例
石川真奈, 高田恵理子, 米澤龍, 佐藤敦, 棕木毬花, 田辺玲奈, 大日方瞳, 杉田栄樹, 藤原久登
第 14 回レジデントフォーラム 2025 年 3 月 (三重)
8. アザシチジン+ベネトクラクス療法による腫瘍崩壊症候群に対して薬物治療を提案した症例
小嶋公之, 大日方瞳, 市村丈典, 田辺玲奈, 杉田栄樹, 藤原久登
第 14 回レジデントフォーラム 2025 年 3 月 (三重)
9. 腹膜がんに対するパクリタキセル及びカルボプラチン併用療法により虚血性腸炎を発症した 1 例
小鳥真歩, 佐野瑞季, 高田恵理子, 大日方瞳, 田辺玲奈, 杉田栄樹, 藤原久登
第 14 回レジデントフォーラム 2025 年 3 月 (三重)
10. 腹腔鏡下食道切除術における予防的デキサメタゾン投与が術中レミフェンタニル投与量に与える影響
村岡健太, 里美貴, 米澤龍, 栗原竜也, 樋口彗, 向後麻里
第 52 回日本集中治療医学会学術集会 2025 年 3 月 (福岡)
11. 慢性腎臓病患者における抗凝固薬投与後の急性腎障害の発症リスクに関する横断研究
百賢二, 船越晴喜, 高橋伸幸, 佐伯美沙, 米澤夏里, 渡邊亜矢子, 二村哲未, 中嶋宏太, 館野円花, 嶋村弘史
第 45 回 日本臨床薬理学会学術集会 2024 年 12 月 (埼玉)

12. 好中球細胞外トラップ形成に対するレスベラトロール及びカテキン誘導体の抑制効果
大日方瞳, 福原潔, Wiraphol Phimarn, 渡邊雄一, 牧山智彦, 板部洋之
第 37 回日本酸化ストレス学会 2024 年 11 月 (東京)
13. 医薬品供給不安定による問い合わせ簡素化プロトコルの有用性
田中広紀, 高橋伸幸, 山口天士, 守屋賀奈絵, 和田紀子, 阿部誠治, 嶋村弘史,
田中昌代, 原口将之, 加藤肇
第 19 医療の質・安全学会学術集会 2024 年 11 月 (横浜)
14. 回復期病棟における薬剤師介入の有用性に関する調査研究
藤原久登, 岸本真, 小瀬英司, 篠永浩, 田中絵里子, 中道真理子, 溝神文博
第 34 回日本医療薬学会年会 2024 年 11 月 (千葉)
15. 薬剤師主導による Cochrane Systematic Review への挑戦：慢性疾患外来患者に対する
Telepharmacy の有用性 (protocol)
杉田栄樹, 里美貴, 野間久史, 大田えりか, Shunsuke Toyoda, 長谷川毅
第 34 回日本医療薬学会年会 2024 年 11 月 (千葉)
16. 薬剤師主導による Cochrane Systematic Review への挑戦：進展型小細胞肺がんの一次
治療 protocol
市村丈典, 杉田栄樹, Shunsuke Toyoda, 野間久史, 大田えりか, 長谷川毅
第 34 回日本医療薬学会年会 2024 年 11 月 (千葉)
17. 在宅医療におけるウェアラブルデバイス導入に関する薬剤師の意識調査
小林一男, 谷川佳孝, 清水久範, 月岡良太, 辻将成, 鈴木賢一, 市村丈典, 中野泰寛,
山口俊司, 大山実, 山口正和
第 34 回日本医療薬学会年会 2024 年 11 月 (千葉)
18. 錠剤嚥下障害の実態調査と服薬補助製品による服薬改善評価—PILL5 アセスメントツ
ールを用いて—
大坪博子, 倉田なおみ, 大城真理奈, 高橋伸幸, 山口天士, 田中広紀, 楠裕美子,
詫間章俊, 三井奈緒, 島本一志, 伊藤綾花, 越塚宏美, 古屋宏章, 大音師澄子,
飯田純一, 興石徹, 上田章人, 萩田均司, 坪内理恵子, 宇都宮励子, 森田俊博
第 34 回日本医療薬学会年会 2024 年 11 月 (千葉)

19. 病院と薬局間で使用される情報連携ツールの網羅的調査
鈴木亮平, 新保美紗子, 水野智博, 島崎良知, 藤原久登, 眞中章弘, 小島太郎, 竹屋泰,
亀井美和子, 溝神文博
第 34 回日本医療薬学会年会 2024 年 11 月 (千葉)
20. 心不全患者におけるサクビトリルバルサルタン継続と心不全治療薬の併用方法の関係
岩崎恵里佳, 神山紀子, 稲本真弓, 永尾美智瑠, 須永登美子, 鈴木洋, 江波戸美緒,
向後麻里
第 28 回日本心不全学会学術集会 2024 年 10 月 (さいたま)
21. 心房細動を併発した糖尿病患者における急性腎障害発現に及ぼす抗凝固薬の曝露時期
の影響に関するネステッドケースコントロール研究
百賢二, 船越晴喜, 高橋伸幸, 佐伯美沙, 米澤夏里, 渡邊亜矢子, 嶋村弘史
第 18 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会 2024 年 9 月 (北海道)
22. 骨折予防目的にアバロパラチドからテリパラチドに変更し投与継続ができた一例
石川真奈, 高田恵理子, 米澤龍, 川添潤, 田辺玲奈, 大日方瞳, 杉田栄樹, 藤原久登
日本病院薬剤師会関東ブロック第 54 回学術大会 2024 年 8 月 (さいたま)
23. 回復期病棟における薬剤師介入による脳血管障害患者の FIM 利得への影響に関する調
査
藤原久登, 岸本真, 小瀬英司, 篠永浩, 田中絵里子, 中道真理子, 溝神文博
医療薬学フォーラム 2024/第 32 回クリニカルファーマシーシンポジウム 2024 年 7
月 (熊本)
24. 心房細動を併発した糖尿病患者における抗凝固薬開始後の急性腎障害に関する自己対
照ケースシリーズ研究
百賢二, 船越晴喜, 高橋伸幸, 佐伯美沙, 米澤夏里, 渡邊亜矢子, 二村哲未, 中嶋宏太,
嶋村弘史
医療薬学フォーラム 2024/第 32 回クリニカルファーマシーシンポジウム 2024 年 7
月 (熊本)
25. 回復期病棟における薬剤師介入による運動器疾患患者の FIM 利得への影響に関する調
査
田中絵里子, 岸本真, 小瀬英司, 篠永浩, 中道真理子, 溝神文博, 藤原久登

医療薬学フォーラム 2024/第 32 回クリニカルファーマシーシンポジウム 2024 年 7 月（熊本）

26. 回復期リハビリテーション病棟においてポリファーマシーを有する高齢運動器疾患患者に対する薬剤師介入の効果：傾向スコアマッチング解析

小瀬英司, 岸本真, 篠永浩, 田中絵里子, 中道真理子, 溝神文博, 藤原久登

医療薬学フォーラム 2024/第 32 回クリニカルファーマシーシンポジウム 2024 年 7 月（熊本）

27. バンコマイシンの AUC_{24-48} が $400\text{mg} / \text{L} \cdot \text{h}$ 未満となる要因解析

鈴木絢子, 佐村優, 石郷友之, 伊部裕太, 藤居賢, 福土将秀, 吉田博昭, 田中宏明, 海老原文哉, 丸山拓実, 藤原久登, 山口史博, 佐村優, 南雲史雄, 小松敏彰, 富澤淳, 詫間章俊, 千葉博暁, 浜田幸宏, 西圭史, 榎木裕紀, 田口和明, 松元一明

MRSA フォーラム 2024 2024 年 7 月 6 日（仙台）

28. 血清クレアチニン低値症例におけるバンコマイシンの AUC 乖離のリスク層別化解析

石郷友之, 鈴木絢子, 伊部裕太, 相神智宏, 吉田博昭, 田中宏明, 海老原文哉, 丸山拓実, 藤原久登, 山口史博, 南雲史雄, 小松敏彰, 富澤淳, 千葉博暁, 詫間章俊, 榎木裕紀, 田口和明, 浜田幸宏, 西圭史, 藤居賢, 松元一明

MRSA フォーラム 2024 2024 年 7 月 6 日（仙台）

29. バンコマイシンの $AUC_{24-48} \geq 400\text{mg} / \text{L} \cdot \text{h}$ 未満の要因解析と BMI 別の負荷投与量の検討

富澤淳, 鈴木絢子, 石郷友之, 伊部裕太, 相神智宏, 吉田博昭, 田中宏明, 海老原文哉, 丸山拓実, 藤原久登, 山口史博, 南雲史雄, 佐村優, 小松敏彰, 千葉博暁, 詫間章俊, 榎木裕紀, 田口和明, 浜田幸宏, 西圭史, 藤居賢, 松元一明

MRSA フォーラム 2024 2024 年 7 月 6 日（仙台）

30. 高齢者機能評価簡易ツール Griatric-8(G8)を利用した高齢がん患者の薬剤師外来後の転帰

市村丈典, 木村祐子, 徳永愛美, 小野航太郎

第 16 回日本がん薬剤学会学術大会 2024 年 6 月 8 日（東京）

31. レボカルニチンによる $\text{TNF-}\alpha$ 誘発 VCAM-1 の発現抑制効果

三澤英央, 山寺志保, 中村裕也, 稲垣昌博, 辻まゆみ, 大澤勲, 後藤博道, 木内祐二

第 69 回日本透析医学会学術集会・総会 2024 年 6 月 7 日（横浜）

その他（セミナー、勉強会等での発表）

（院外）

1. 外来化学療法における薬剤師業務

小菅健志

がんトータルケア WEB セミナー 2025 年 3 月 11 日（Web）

2. 心不全地域連携の取り組みについて

中村彰子

横浜市北部心不全連携セミナー～GDMT の最適化を目指して～ 2025 年 2 月 26 日
（Web）

3. 老年薬学ワークショップ～がん～

市村丈典

日本老年薬学会 2025 年 1 月 26 日（Web）

4. 老年薬学ワークショップ～がん～

市村丈典

日本老年薬学会 2024 年 8 月 4 日（Web）

5. 急性期病院と回復期病院における病院薬剤師の役割と連携

藤原久登

2024 年度トーアエイヨー社内研修会 2024 年 6 月 25 日（横浜）

6. 私のベージェニオ副作用マネジメント

小菅健志

Breast Cancer Seminar in KANAGAWA 2024 年 5 月 20 日（横浜）

（院内、大学内）

1. 薬剤耐性菌と関連抗菌薬について

田中道子

藤が丘病院モーニングセミナー 2025 年 3 月 25 日（昭和大学藤が丘病院）

2. クマザサルカリ抽出液による急性腎障害（AKI）の治療効果の解明

佐野瑞季

藤が丘病院・リハビリテーション病院第 10 回研究発表会 2025 年 3 月 10 日（昭和大学藤が丘病院）

3. 横浜市疾患別医療・介護連携事業の概要

藤原久登

第 4 回昭和大学地域連携チームファーマシスト協議会 2025 年 2 月 28 日（WEB）

4. 心不全療養指導士の役割と心疾患ネットワークについて

中村彰子

第 4 回昭和大学地域連携チームファーマシスト協議会 2025 年 2 月 28 日（WEB）

1 日 1 回型製剤から週 2 回型テリパラチドへ変更し、アドヒアランスが向上した一例

石川真奈

第 5 回統括薬剤部・病院薬剤学講座セミナー 2025 年 2 月 22 日（昭和大学）

5. 抗菌薬適正使用について

田中道子

2024 年度藤が丘病院・リハビリテーション病院医療安全・感染対策講習会 B 2025 年 2 月 20 日（昭和大学藤が丘病院）

6. 昭和大学薬学部（6 年制）を卒業した後の私—医療人としてのプラクティス—

市村丈典

薬学部創設 60 周年記念講演会 11 月 10 日（昭和大学）

7. ワルファリン錠とトラマドール/アセトアミノフェン配合錠の併用に伴い PT-INR の過延長を認めた症例

田辺玲奈

第 4 回統括薬剤部・病院薬剤学講座セミナー 2024 年 9 月 28 日（昭和大学）

8. 令和 5 年度国公立大学病院医療技術関係職員研修報告

杉田栄樹, 川添潤

第 4 回統括薬剤部・病院薬剤学講座セミナー 2024 年 9 月 28 日（昭和大学）

9. 安全な医薬品の取り扱いについて

野田秀裕

2024 年度藤が丘病院・リハビリテーション病院医療安全・感染対策講習会 A 2024 年

9月2日（昭和大学藤が丘病院）

10. 多剤耐性菌の院内防止策（テーマ）

田中道子

看護職員研修 2024年8月23日（昭和大学藤が丘病院）

11. 大腸がんの薬物療法

市村丈典

昭和大学大学院薬学的がんケア学 2024年7月5日（Web）

12. 抗菌薬の用法と副作用の観察

田中道子

新人看護研修 2024年4月23日（昭和大学藤が丘病院）

13. インスリン製剤の種類・用法・副作用の観察

稲本真弓

新人看護研修 2024年4月23日（昭和大学藤が丘病院）

14. 麻薬の主作用、副作用の観察

大日方瞳

新人看護研修 2024年4月23日（昭和大学藤が丘病院）

15. 薬剤の管理（毒薬、劇薬、麻薬、血液製剤）

野田秀裕

新人看護研修 2024年4月23日（昭和大学藤が丘病院）

16. クマザサアルカリ抽出液の急性腎障害に対する治療効果とそのメカニズムの解明

佐野瑞季, 柴田佳太, 野部浩司

第400回昭和大学学士会例会 2024年6月15日（昭和大学）

受賞

（論文）

1. Journal of Infection and Chemotherapy (JIC) Award

Flowchart for predicting achieving the target area under the concentration-time curve of vancomycin in critically ill Japanese patients: a multicenter retrospective study.

Tomoyuki Ishigo, Satoshi Fujii, Yuta Ibe, Tomohiro Aigami, Keita Nakano,

Masahide Fukudo, Hiroaki Yoshida, Hiroaki Tanaka, Fumiya Ebihara,
Takumi Maruyama, Yukihiro Hamada, Ayako Suzuki, Hisato Fujihara,
Fumihiro Yamaguchi, Masaru Samura, Fumio Nagumo, Toshiaki Komatsu,
Atsushi Tomizawa, Akitoshi Takuma, Hiroaki Chiba, Yoshifumi Nishi, Yuki Enoki,
Kazuaki Taguchi, Kazuaki Matsumoto

(学会)

1. 第 16 回日本がん薬剤学会学術大会 優秀演題賞
高齢者機能評価簡易ツール Griatric-8(G8)を利用した高齢がん患者の薬剤師外来後の
転帰
市村丈典, 木村祐子, 徳永愛美, 小野航太郎

外部資金獲得実績

1. JASPO がん研究助成 (令和 6 年度)
急性骨髄性白血病患者に対するベネトクラクス＋アザシチジン併用療法による腫瘍崩
壊症候群のリスク因子の探索
大日方瞳, 市村丈典, 西永朋加, 露木志保, 藤原久登
2. 厚生労働省科学研究費 (令和 6 年度)
患者のケア移行に伴う薬剤師間の情報連携の現状課題の把握とその解決に向けた調査
研究
藤原久登
3. 厚生労働省科学研究費 (令和 6 年度)
切れ目のないポリファーマシー対策を提供するための病院薬剤師間の情報連携の推進
に資する研究
藤原久登
4. 独立行政法人日本学術振興会 令和 6 年度科学研究費助成事業 若手研究 (令和 6 年度)
プレガバリン経皮吸収製剤の安定性・安全性の確立
永尾美智瑠
5. 独立行政法人日本学術振興会 令和 6 年度科学研究費助成事業 若手研究 (令和 6 年度)
感染症治療及び制御に関する効果的かつ効率的な介入及びフィードバック手法の構築
杉田栄樹

6. 独立行政法人日本学術振興会 令和 6 年度科学研究費助成事業 若手研究（令和 6 年度）
PH の変動が半固形化栄養法の粘性と下痢抑制効果に及ぼす影響の解明
三井奈緒
7. 一般社団法人日本病院薬剤師会学術委員会
回復期病棟における薬剤師介入の有用性に関する調査研究
藤原久登, 田中絵里子
8. 独立行政法人日本学術振興会 令和 6 年度科学研究費助成事業 若手研究（令和 6 年度）
リアルワールドデータに基づく切除不能・進行再発非小細胞肺癌治療薬の費用効用
分析
市村丈典

社会活動

（職能団体）

1. 日本病院薬剤師会
 - ・学術委員会 学術第 5 小委員会：藤原久登（委員長）, 田中絵里子
 - ・感染制御専門薬剤師部門 試験委員会：田中広紀
2. 神奈川県病院薬剤師会
 - ・会員・広報出版委員会：米澤龍, 中村彰子
3. 横浜市青葉区薬剤師会
 - ・副会長：藤原久登
 - ・理事：藤原久登

（学会などの学術団体）

4. 日本医療薬学会
 - ・代議員：藤原久登, 杉田栄樹
5. 日本臨床腫瘍薬学会
 - ・代議員：市村丈典
 - ・広報出版委員：市村丈典

（公的機関、財団、協会など）

6. 日本私立医科大学協会

・薬剤部長会議東ブロック会：藤原久登

7. 日本私立薬科大学協会 私立薬科大学国家試験検討委員会

・委員：藤原久登

8. 横浜市心臓リハビリテーション強化事業（CREYon2 プロジェクト）：中村彰子

9. 青葉区医師会心疾患ネットワーク：藤原久登

（研究会）

10. 私立医大病院薬剤部研究会

・評議員：藤原久登, 田中広紀

・代議員：野田秀裕, 田中絵里子

11. 臨床救急医療薬学研究会

・世話人：佐藤真理子

（その他）

12. 神奈川 DMAT-L

・隊員：杉田栄樹, 宮本渚

スタッフ

薬剤部長

藤原久登（准教授）

課長

野田秀裕

田中広紀（リハビリテーション病院 薬局長、准教授）

係長

小菅健志

石下宏征

杉田栄樹（講師）

主事

宮本渚

横山あずさ

柳原麻里（リハビリテーション病院）

今井佳世（リハビリテーション病院）

田中絵里子（リハビリテーション病院）

講師

米澤龍

市村丈典

主査

小林安里奈

川添潤

助教

田中道子

佐藤真理子

田中菜央

高田恵理子

村田志保（いずみ記念病院出向中）

永尾美智瑠

太田晃（ひたち医療センター出向中）

出口智一（ひたち医療センター出向中）

稲本真弓

佐伯美沙

大日方瞳

佐野瑞季

中村彰子（リハビリテーション病院）

三井奈緒（リハビリテーション病院）

助教（薬科）

向井将晃

田辺玲奈

露木志保

西永朋加

パート

藤田可南子

臨床研修薬剤師 2 年（PGY2）

石川愛梨

石川真奈

小嶋公之

小鳥真歩

中村はるか

盛川朋海

臨床研修薬剤師 1 年（PGY1）

伊藤穂香

伊部瑞希

岩井琢

岡久柚香

柏木洋俊

関森愛

日昔未来

村松里紗

渡邊優莉奈